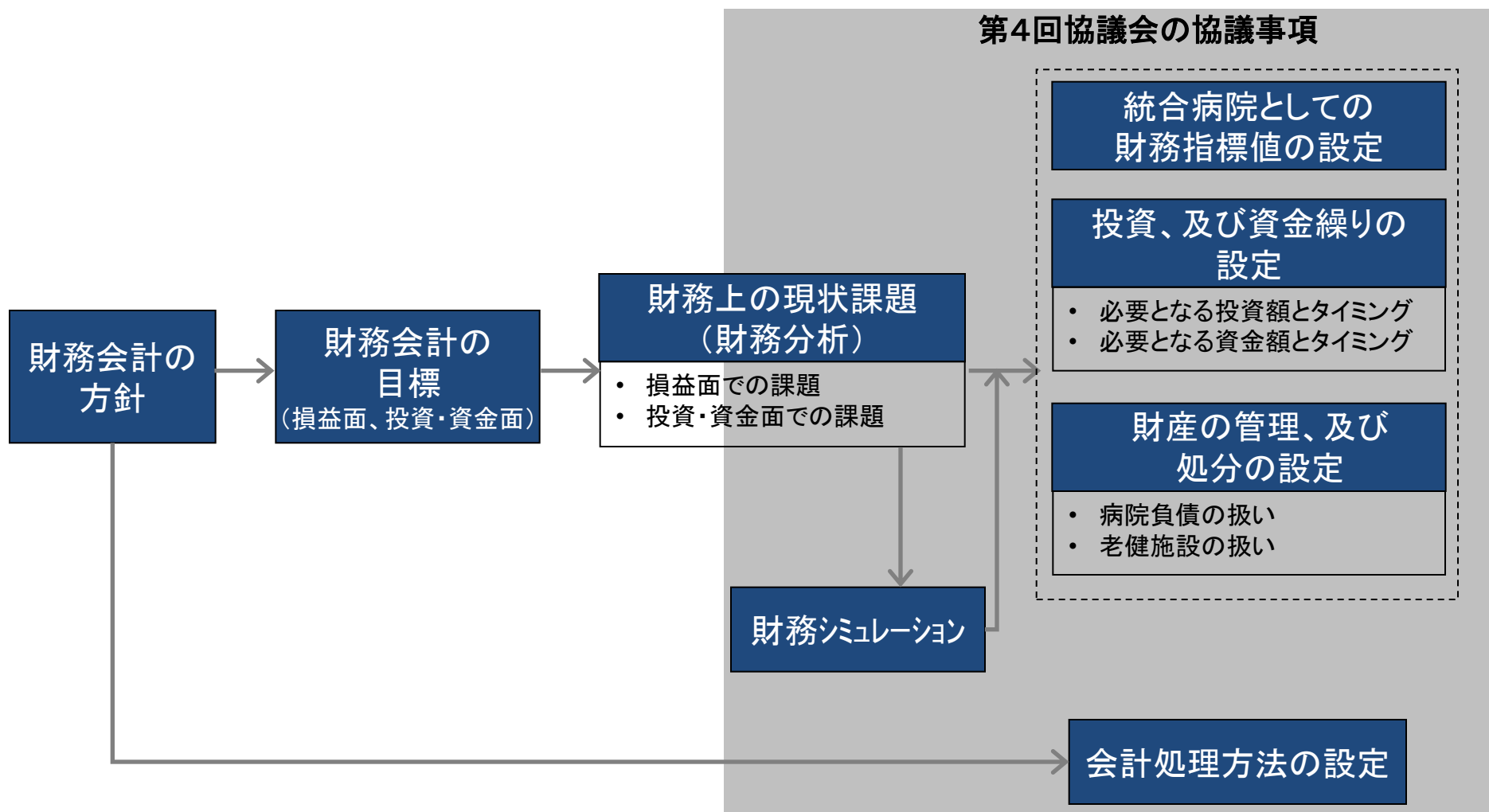


財務会計計画について

■ 財務会計計画の協議事項

財務会計計画では、財務会計の方針と、損益、及び投資・資金面から財務会計の目標を設定し、財務分析により両病院の財務上の現状課題を明確にした上で、統合病院としての財務指標値、及び投資、及び資金繰り、財産の管理、及び処分の設定を行います。



財務上の現状課題(老健)

■ 財務上の現状課題: 老建 財務分析項目

財務的な視点で下記の項目に関して2病院に併設の介護老人保健施設(老健)それぞれについて分析を行います。

分類	分析項目	説明・分析意図
損益 (収益分析)	在所者単価 (=在所施設利用料収入÷在所延患者数) 利用者1人在所で1日何円収入があるか	全国施設在所者単価と比較をみる。そのギャップ分を埋めるための施策を検討する
	通所者単価 (=通所施設利用料収入÷通所延患者数) 利用者1人通所で1回何円収入があるか	全国施設の通所者単価と比較をみる。そのギャップ分を埋めるための施策を検討する
	延在所者数 (在所の年間延利用者数)	利用者数の推移を検討し、その傾向をみる。目標利用者数設定の目安として把握する
	平均入所率 (=1日平均入所者数÷平均入所定員数)	入所定員の活用効率をみる
	延通所者数 (通所の年間延利用者数)	利用者数の推移を検討し、その傾向をみる。目標利用者数設定の目安として把握する
	平均通所率 (=1日平均入所者数÷平均入所定員数)	通所定員の活用効率をみる
	事業利益率 (=施設運営事業利益÷施設運営事業収益)	本業である施設運営事業活動そのものから得られた利益をみる
	経常利益率 (=経常利益÷経常収益)	施設運営事業利益に受取利息や支払利息などの収入支出を加えた、施設に通常発生している利益をみる

■ 財務上の現状課題:老健 財務分析項目

財務的な視点で下記の項目に関して2病院に併設の介護老人保健施設(老健)それぞれについて分析を行います。

分類	分析項目	説明・分析意図
損益 (費用分析)	給与費:事業収益100に対する比率 (=給与費÷施設運営事業収益)	全国施設と比べて人件費の占める割合の高さをみる。必要となる施設運営事業収益額の根拠となる
	材料費:事業収益100に対する比率 (=材料費÷施設運営事業収益)	全国施設と比べて材料費の占める割合をみる。今後の一括購入でのスケールメリットの表れをみるために必要であり、購買部門の1つの成果指標として検討する
	経費:事業収益100に対する比率 (=[経費+委託費+研究費]÷施設運営事業収益)	全国施設と比べて経費の占める割合の高さをみる。比率の高低から削減目標を検討、特に目立つ費目を特定して目標設定を検討する
	委託費:事業収益100に対する比率 (=委託費÷施設運営事業収益)	全国施設と比べて委託費の占める割合の高さをみる。26年4月以降の契約更新での削減効果の成果を検討する
	支払利息:経常収益100に対する比率 (=支払利息÷{施設運営事業収益+施設運営事業外収益})	全国施設と比べて支払利息の占める割合の高さをみる

分類	分析項目	説明・分析意図
投資・資金 (安全性分析)	流動比率 (=流動資産÷流動負債)	現状の短期支払能力(1年以内に現金化できるものと1年以内に支払を要請されるものとの比率)をみる(比率が高いほど経営としては良い)
	固定長期適合率 (=固定資産÷(固定負債+純資産))	設備投資を長期に返済が猶予される資金の範囲内で賅っているかどうかをみる(比率が低いほど経営としては良い)
	自己資本比率 (=純資産÷総資産)	当初の拠出金と自己の利益積立でどのくらい運用を賅っているかをみる

財務上の現状課題:老健 財務分析結果(損益(収益分析))

分析結果

- ・入所率は2施設ともベンチマーク値を下回っているが、乖離幅は小さく、空きは少ない状況
- ・通所率では市川三郷では同じ敷地内の社会福祉協会においても同事業を提供しているため、市川三郷の施設がベンチマーク値を大きく下回っている。鵜沢の施設はベンチマーク値を上回っている
- ・本業での利益を表す事業利益率は、鵜沢の施設は黒字を確保、市川三郷の施設は赤字となっている

分析結果から言えること(示唆)

- ・2施設とも入所率が高いことは経営として望ましい姿と言える反面、病院側からみれば転院先として計算することは難しい状況である。療養としての後方病床の確保などが課題となる
- ・市川三郷の施設の赤字要因の1つに通所率の低さがある。通所稼働改善の施策が必要である

分析項目	市川三郷 23年度	鵜沢 23年度	ベンチマーク (※1)
在所者単価 利用者1人在所で1日何円収入があるか	12,503円	12,399円	12,835円
通所者単価 利用者1人通所で1回何円収入があるか	10,650円	10,070円	10,487円
延在所者数 在所の年間延利用者数	23,801人	33,999人	—
平均入所率 1日平均入所者数の定員に対する割合	92.9%	92.9%	96.1%
延通所者数 通所の年間延利用者数	1,328人	5,899人	—
平均通所率 1日平均通所者数の定員に対する割合	45.4%	78.9%	69.3%
事業利益率 施設運營業活動での利益率	-5.6%	2.9%	9.5%
経常利益率 経常の施設運營業活動での利益率	-1.3%	2.4%	8.9%

【定員数】

- 市川三郷
- ・入所: 70
 - ・通所: 12
- 鵜沢
- ・入所: 100
 - ・通所: 30

ベンチマーク比較等の観点から運営上課題となるもの

※1 全国1,468施設の平均値 出典:WAM独立行政法人福祉医療機構 介護老人保健施設の経営分析参考指標平成22年度決算分

■ 財務上の現状課題:老健 財務分析結果(損益(費用分析))

分析結果

- ・市川三郷の施設の給与比率はベンチマーク値を大きく上回っている。鯉沢の施設も上回っている
- ・2施設とも経費率がベンチマーク値を上回っている
- ・市川三郷の施設は支払利息率がベンチマーク値を大きく上回っている

分析結果から言えること(示唆)

- ・市川三郷の施設の給与費が施設運営事業収益とのバランスを欠いているため、通所率改善による収益アップが必要である
- ・2施設とも経費率が高く、経費では委託費が大きなウェイトを占めるため、その契約の見直しが必要である
- ・市川三郷の施設では赤字の上に建設費用に係る利息の負担が重くのしかかっている。返済計画の見直しを検討する必要がある

分析項目	市川三郷 23年度	鯉沢 23年度	ベンチマーク (※1)
給与費率 事業収益に給与費の占める割合	70%	61.8%	54.9%
材料費率 事業収益に材料費の占める割合	4.0%	3.7%	2.6%
経費率 事業収益に経費の占める割合 ※ 光熱水費、賃借料等	24.4%	24.4%	19.1%
委託費率 事業収益に委託費の占める割合	14.5%	15.7%	—
支払利息率 事業収益に支払利息の占める割合	8.0%	0%	1.8%

ベンチマーク比較等の観点から
運営上課題となるもの

※1 全国1,468施設の平均値 出典:WAM独立行政法人福祉医療機構 介護老人保健施設の経営分析参考指標平成22年度決算分

■ 財務上の現状課題:老健 財務分析結果(投資・資金(安全性分析))


分析結果

- ・市川三郷の施設の流動比率(短期支払能力)は低く、運転資金に苦しんでいる状況である
- ・鵜沢の施設の流動比率(短期支払能力)は高いが経年でみると大きく減少している
- ・市川三郷の施設の自己資本は企業債を長期借入金と考えた場合、薄い状況である

分析結果から言えること(示唆)

- ・市川三郷の施設は一時借入金の増加が短期の資金繰りを圧迫しており、手許現預金が大きく減少している。一時借入金の返済計画の見直しが必要である
- ・市川三郷の施設は多額の企業債を抱えている。この企業債の償還計画の見直しが必要である

分析項目	市川三郷 23年度	鵜沢 23年度
流動比率 短期間での支払能力をみる	98.7%	404.0%
固定長期適合率 設備投資を長期返済猶予の資金調達 の範囲内で賄えているか	100.1%	1.8%
自己資本比率(企業債分除く) 拠出金と利益積立で運用が賄えている割合	11.9%	40.1%

ベンチマーク比較等の観点から運営上課題となるもの

注:鵜沢の施設決算書では建物の計上がない

注:投資資金項目では厚生労働省のベンチマークデータ集計が行われていない

参考：市川三郷老健施設貸借対照表5期比較

単位：千円	19年度	20年度	21年度	22年度	23年度
流動資産	93,444	64,396	73,375	65,589	67,139
現預金	25,874	2,396	10,274	2,941	8,392
未収金	67,570	62,000	63,101	62,648	58,747
貯蔵品	0	0	0	0	0
有形固定資産	1,029,906	1,008,141	985,818	963,793	941,842
土地	4,148	4,148	4,148	4,148	4,148
建物	988,601	967,497	946,392	925,287	904,183
建物付属設備	0	0	0	0	0
構築物	25,651	24,916	24,181	23,446	22,711
器械備品	11,009	11,083	10,600	10,415	10,303
車両	497	497	497	497	497
その他有形固定資産	0	0	0	0	0
資産合計	1,123,350	1,072,537	1,059,193	1,029,382	1,008,981
流動負債	47,292	31,758	59,902	73,288	68,050
一時借入金	35,000	22,000	50,000	60,000	60,000
未払金	11,550	8,980	9,107	12,384	7,048
その他流動負債	742	778	795	904	1,002
資本の部	1,076,058	1,040,778	999,290	956,094	940,931
資本金	998,344	956,234	912,714	867,737	821,253
自己資本金	0	0	0	0	0
借入資本金(企業債)	998,344	956,234	912,714	867,737	821,253
剰余金	77,714	84,544	86,576	88,357	119,678
資本剰余金	135,906	145,906	155,906	166,006	202,006
利益剰余金	-58,192	-61,362	-69,330	-77,649	-82,328
修正自己資本	77,714	84,544	86,576	88,357	119,678

参考：市川三郷老健施設損益計算書5期比較

単位：千円	19年度		20年度		21年度		22年度		23年度	
	金額	収益比	金額	収益比	金額	収益比	金額	収益比	金額	収益比
事業収益	288,984		291,399		293,788		302,628		312,216	
施設介護料収益	221,228	76.6%	232,528	79.8%	236,276	80.4%	246,009	81.3%	243,180	77.9%
居宅介護料収益	35,330	12.2%	28,007	9.6%	27,080	9.2%	30,559	10.1%	32,721	10.5%
利用者利用料収益	32,223	11.2%	30,692	10.5%	30,147	10.3%	25,734	8.5%	35,833	11.5%
その他施設運営収益	203	0.1%	172	0.1%	285	0.1%	326	0.1%	482	0.2%
再掲 入所分収益	248,521	86.0%	259,610	89.1%	262,773	89.4%	268,086	88.6%	274,561	87.9%
再掲 通所短期分収益	40,259	13.9%	31,617	10.9%	30,731	10.5%	34,216	11.3%	37,172	11.9%
医業費用	296,852	102.7%	300,295	103.1%	309,591	105.4%	322,798	106.7%	329,565	105.6%
給与費	187,542	64.9%	187,518	64.4%	199,957	68.1%	210,414	69.5%	218,688	70.0%
材料費	11,029	3.8%	12,850	4.4%	13,052	4.4%	12,723	4.2%	12,597	4.0%
経費	75,231	26.0%	77,736	26.7%	74,228	25.3%	77,393	25.6%	76,258	24.4%
うち委託費	45,952	15.9%	46,080	15.8%	44,447	15.1%	44,599	14.7%	45,404	14.5%
減価償却費	22,708	7.9%	22,160	7.6%	22,231	7.6%	22,231	7.3%	21,952	7.0%
資産減耗費	297	0.1%	0	0.0%	91	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
研究研修費	45	0.0%	31	0.0%	32	0.0%	37	0.0%	70	0.0%
事業利益	-7,868	-2.7%	-8,896	-3.1%	-15,803	-5.4%	-20,170	-6.7%	-17,349	-5.6%
事業外収益	61,942	21.4%	42,930	14.7%	43,703	14.9%	46,248	15.3%	45,540	14.6%
事業外費用	38,279	13.2%	37,203	12.8%	35,868	12.2%	34,396	11.4%	32,980	10.6%
うち支払利息	34,202	11.8%	32,872	11.3%	31,695	10.8%	30,008	9.9%	28,561	9.1%
経常利益	15,795	5.5%	-3,169	-1.1%	-7,968	-2.7%	-8,318	-2.7%	-4,789	-1.5%
特別利益	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
特別損失	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
当期純損益	15,795	5.5%	-3,169	-1.1%	-7,968	-2.7%	-8,318	-2.7%	-4,789	-1.5%

参考：鯉沢老健施設貸借対照表5期比較

単位：千円	19年度	20年度	21年度	22年度	23年度
流動資産	208,894	269,114	235,127	351,621	166,508
現預金	144,291	202,081	165,525	279,593	92,497
施設運営未収金	64,105	65,345	69,251	71,760	73,517
貯蔵品	303	277	251	258	313
未収収益	52	208	100	10	62
前払費用	143	1,203	0	0	119
有形固定資産	6,971	3,575	2,821	3,466	12,491
土地	0	0	0	0	0
建物	0	0	0	0	0
建物付属設備	0	0	0	0	0
構築物	0	0	0	0	0
医療用器械	507	319	126	126	126
その他器械備品	5,594	2,676	2,405	3,340	3,260
その他無形固定資産	870	580	290	0	9,105
その他資産	270,513	270,593	370,729	320,274	570,306
長期貸付金	0	0	0	0	50,000
その他投資	270,513	270,593	370,729	320,274	520,306
繰延資産	802				
資産合計	487,180	543,282	608,677	675,361	749,305
流動負債	21,690	22,857	23,663	28,169	41,215
買掛金	6,876	6,859	6,981	6,724	6,993
未払金	0	0	515	883	12,178
預り金	1,046	1,030	1,120	1,034	1,087
未払費用	4,459	4,143	3,840	4,731	4,454
賞与引当金	9,309	10,825	11,207	14,797	16,503
固定負債	274,003	311,519	356,300	395,084	407,785
退職手当引当金	72,777	73,120	83,167	87,218	95,186
特別修繕引当金	25,000	30,000	30,000	30,000	0
その他固定負債	176,226	208,399	243,133	277,866	312,599
基金勘定	191,487	208,905	228,715	252,108	300,303
基金剰余金	6,064	6,064	6,064	6,064	6,064
設備寄付金	6,064	6,064	6,064	6,064	6,064
利益剰余金	185,423	202,841	222,651	246,044	294,239
利益準備金	82,449	92,711	101,421	111,326	138,022
繰越利益剰余金	82,449	92,711	101,420	111,325	138,022
当期剰余金	20,525	17,419	19,810	23,393	18,195

参考：鯉沢老健施設損益計算書5期比較

単位：千円	19年度		20年度		21年度		22年度		23年度	
施設運營業業収益	452,409	収益比	463,337	収益比	477,219	収益比	489,224	収益比	494,687	収益比
施設介護料収益	296,122	65.5%	298,381	64.4%	310,157	65.0%	314,749	64.3%	316,314	63.9%
居宅介護料収益	56,794	12.6%	64,058	13.8%	63,413	13.3%	68,100	13.9%	70,854	14.3%
居宅介護支援介護料収益	4,018	0.9%	4,073	0.9%	5,093	1.1%	5,710	1.2%	6,773	1.4%
室料差額収益	5,455	1.2%	5,811	1.3%	5,738	1.2%	6,193	1.3%	6,316	1.3%
利用者利用料収益	89,646	19.8%	90,666	19.6%	92,417	19.4%	94,067	19.2%	94,095	19.0%
受託施設利用収益	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
その他運營業業収益	374	0.1%	348	0.1%	401	0.1%	405	0.1%	335	0.1%
施設運營業業費用	432,076	95.5%	446,382	96.3%	458,736	96.1%	466,650	95.4%	480,524	97.1%
給与費	258,904	57.2%	263,125	56.8%	291,224	61.0%	293,775	60.0%	305,805	61.8%
材料費	19,113	4.2%	18,820	4.1%	20,284	4.3%	19,659	4.0%	18,374	3.7%
経費	37,630	8.3%	49,365	10.7%	33,570	7.0%	39,773	8.1%	42,003	8.5%
委託費	75,361	16.7%	75,603	16.3%	76,837	16.1%	76,639	15.7%	77,519	15.7%
研修費	442	0.1%	1,025	0.2%	1,335	0.3%	1,358	0.3%	1,161	0.2%
減価償却費	40,626	9.0%	38,444	8.3%	35,486	7.4%	35,446	7.2%	35,662	7.2%
施設運營業業利益	20,333	4.5%	16,955	3.7%	18,483	3.9%	22,574	4.6%	14,163	2.9%
施設運營業業外収益	12,497	2.8%	12,008	2.6%	13,167	2.8%	13,242	2.7%	17,293	3.5%
施設運營業業外費用	12,330	2.7%	14,109	3.0%	13,759	2.9%	17,403	3.6%	19,136	3.9%
うち支払利息	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
経常利益	20,500	4.5%	14,854	3.2%	17,891	3.7%	18,413	3.8%	12,320	2.5%
特別利益	26	0.0%	2,565	0.6%	1,919	0.4%	5,812	1.2%	5,885	1.2%
特別損失	0	0.0%	0	0.0%	1	0.0%	832	0.2%	10	0.0%
当期純損益	20,526	4.5%	17,419	3.8%	19,809	4.2%	23,393	4.8%	18,195	3.7%

財務シミュレーション

■ シミュレーションを行う上での前提： 病院負債の状況

市川三郷町立病院及び社会保険鯉沢病院それぞれの負債(短期借入金・長期借入金)は下記の通りです。短期借入金とは返済猶予が1年以内の負債であり、長期借入金とは返済猶予が1年を超える負債です。

市川三郷町立病院(病院分)

【貸借対照表(負債・資本の部)】

単位:千円	23年度
流動負債	432,616
一時借入金	280,000
未払金	145,912
その他流動負債	6,704
資本の部	1,641,916
資本金	451,121
自己資本金	124,973
借入資本金(企業債)	※1 326,148
剰余金	1,190,795
資本剰余金	1,711,920
利益剰余金	-521,125
借入金合計	606,148
修正自己資本	1,315,768

短期借入金

280,000千円
↓
0円
(平成25年度末)

長期借入金

326,148千円
↓
271,447千円
(平成25年度末(※2))

※1 平成26年4月より適用の地方公営企業会計見直しでは借入資本金は負債として取り扱うため、「長期借入金」と表記する

※2 市川三郷町立病院の返済計画に基づく

社会保険鯉沢病院(病院分)

【貸借対照表(負債・資本の部)】

単位:千円	23年度
流動負債	162,169
買掛金	79,337
未払金	40,826
短期借入金	0
預り金	126
職員預り金	6,447
未払費用	3,922
前受収益	0
賞与引当金	31,271
その他流動負債	240
固定負債	3,273,308
長期借入金	1,838,885
退職手当引当金	331,282
特別修繕引当金	0
その他固定負債	1,103,141
基金勘定	-2,957,520
基金剰余金	1,216
設備寄付金	1,216
利益剰余金	-2,958,736
利益準備金	0
繰越利益剰余金	-2,795,165
当期剰余金	-163,571

短期借入金

0円

長期借入金

1,838,885千円
↓
0円
(平成25年度末(※3))

※3 RFOからの買取時に精算される

■ シミュレーションを行う上での前提： 老健負債の状況

市川三郷町立病院及び社会保険鯉沢病院の老健施設について、それぞれの負債(短期借入金・長期借入金)は下記の通りです。短期借入金とは返済猶予が1年以内の負債であり、長期借入金とは返済猶予が1年を超える負債です。

市川三郷町立病院(老健分)

【貸借対照表(負債・資本の部)】

単位:千円	23年度
流動負債	68,050
一時借入金	60,000
未払金	7,048
その他流動負債	1,002
資本の部	940,931
資本金	821,253
自己資本金	0
借入資本金(企業債) ※1	821,253
剰余金	119,678
資本剰余金	202,006
利益剰余金	-82,328
修正自己資本	119,678

短期借入金

60,000千円

↓

0円

(平成25年度末)

長期借入金

821,253千円

↓

723,564千円

(平成25年度末(※2))

※1 平成26年4月より適用の地方公営企業会計見直しでは借入資本金は負債として取り扱うため、「長期借入金」と表記する

※2 市川三郷町立病院の返済計画に基づく

社会保険鯉沢病院(老健分)

【貸借対照表(負債・資本の部)】

単位:千円	23年度
流動負債	41,215
買掛金	6,993
未払金	12,178
短期借入金	0
預り金	1,087
未払費用	4,454
賞与引当金	16,503
固定負債	407,785
長期借入金	0
退職手当引当金	95,186
特別修繕引当金	0
その他固定負債	312,599
基金勘定	300,303
基金剰余金	6,064
設備寄付金	6,064
利益剰余金	294,239
利益準備金	138,022
繰越利益剰余金	138,022
当期剰余金	18,195

短期借入金

0円

長期借入金

0円

■ シミュレーションを行う上での前提： 流動資産・流動負債の扱いについて

市川三郷町立病院及び老健の流動資産・流動負債については、下記のとおり前提を置くこととします。

流動資産・流動負債

市川三郷町立病院(老健含む)の流動資産、及び一時借入金を含む流動負債については、平成25年度末に市川三郷町に帰属することとする(特別会計を創設して別途精算する)



シミュレーションを行うにあたっては、市川三郷町立病院(老健含む)の一時借入金をゼロとして計算を行うこととする

■ シミュレーションを行う上での前提： 病院の固定負債の扱い

両病院の長期借入金の扱いについては、下記のとおり前提を置くこととします。

長期借入金

[平成25年度末] 市川三郷町立病院：271,447千円(平均利率2.69% 年返済額27,670千円)
社会保険鰹沢病院：0円

病院の負債(長期借入金)の負担先については、「一部事務組合(企業団)が負担する場合」と「一部事務組合(企業団)以外が負担する場合※1」が考えられる。この2つの場合それぞれについてシミュレーションを行う

負債を一組(企業団)
が負担する場合

負債を一組(企業団)
以外が負担する場合

※1 一部事務組合(企業団)以外が負担する場合には、構成団体が直接負担する場合のほか、構成団体からの特別負担金を得て一組が債務を返済していく場合も含む。

■ シミュレーションを行う上での前提： 老健施設及びその固定負債の扱い

シミュレーションを行うに当たり、老健を「引継ぐ場合」と「引継がない場合」それぞれを想定します（この際、両病院の老健とも引継ぐか引継がないかの取扱いは統一するものとします）。

また、老健の長期借入金の扱いについても、病院負債の扱いと同様、下記のとおり前提を置くこととします。

老健の引継ぎ

両病院の老健を引継ぐ場合

と

両病院の老健を引継がない場合

を想定する

長期借入金

[平成25年度末] 市川三郷老健:723,564千円(平均利率3.32% 年返済額4,650千円)
鰺沢老健:0円

老健の負債(長期借入金)の負担先については、「一部事務組合(企業団)が負担する場合」と「一部事務組合(企業団)以外が負担する場合※1」が考えられる。この2つの場合それぞれについてシミュレーションを行う

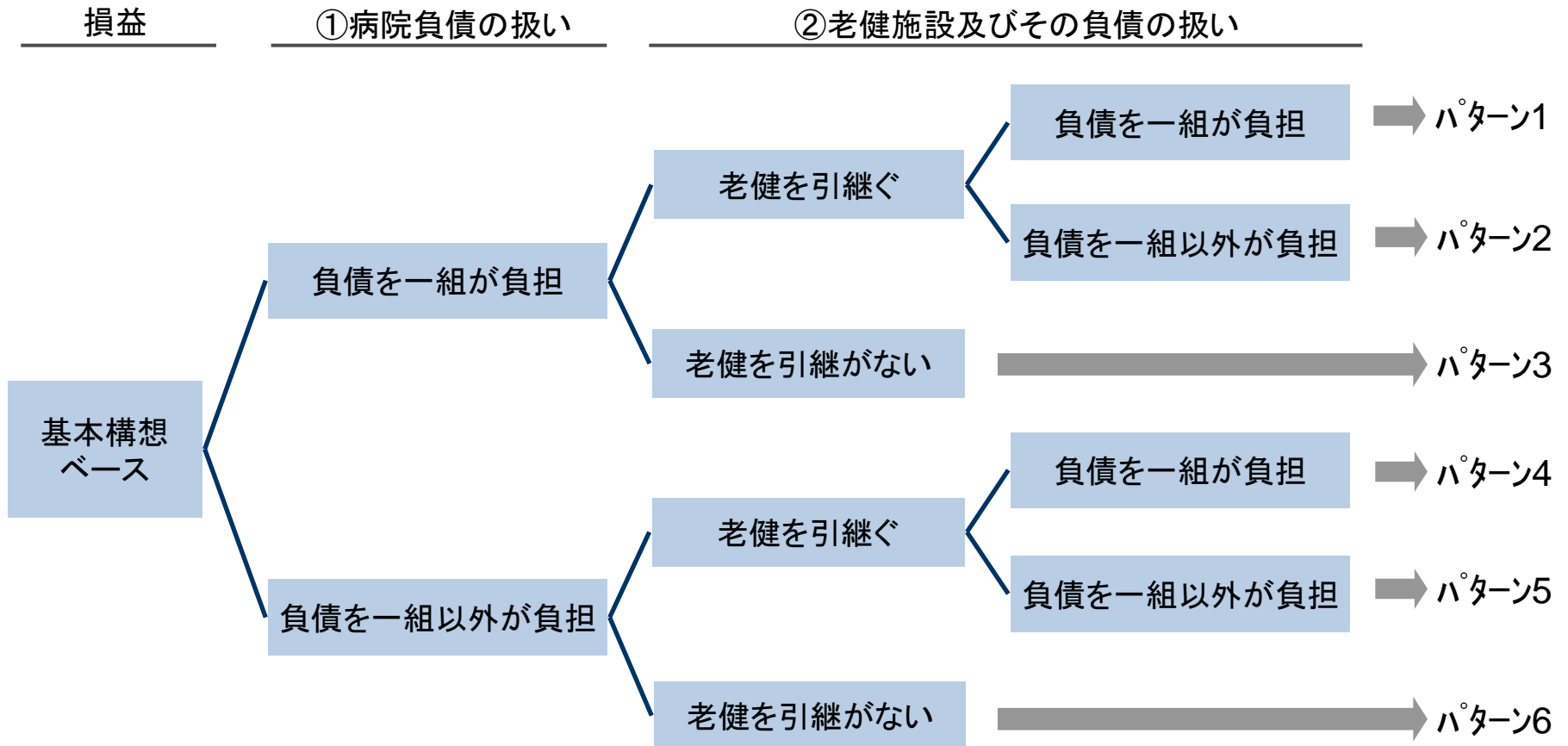
負債を一組(企業団)
が負担する場合

負債を一組(企業団)
以外が負担する場合

※1 一部事務組合(企業団)以外が負担する場合には、構成団体が直接負担する場合のほか、構成団体からの特別負担金を得て一組が債務を返済していく場合も含む。

■ シミュレーションを行う上での前提： 想定されるパターン

シミュレーションを行うにあたり、損益面では基本構想をベースとします。また「①病院負債の扱い」「②老健施設及びその負債の扱い」については前頁までの前提を基に、下記の6パターンについてシミュレーションを行います。



■ 財務シミュレーションの前提条件(損益(収益))

施設	科目	値	前提条件
市川	入院単価	24,500円	一般病床40床(30,000円)療養病床40床(19,000円)の平均値
	入院 延患者数	23,360人	病床数減を稼働率でカバーすると仮定(80床×80%×365日)
	病床利用率	80%(26年度) 85%(31年度)	富士川からの転院受入で亜急性期・慢性期患者で段階的利用率向上
	外来単価	10,000円	透析室の稼働を現況維持して現況単価を維持する仮定
	外来 延患者数	82,477人(26年度) 96,188人(31年度)	診療科の充実等により22年度実績68,706人から外来患者が段階的に向上
富士川	入院単価	10:1 棟 38,000円 7:1棟 42,000円	現状単価ベースを維持と仮定 7:1病棟は31年度開設
	入院 延患者数	44,968人	内科医増員による病床増 (154床×80%×365日)
	病床利用率	80%(26年度) 10:1 85%(31年度) 7:1 80%(31年度)	救急車搬送増、大学の手術待機患者獲得により利用率向上
	外来単価	10,000円	紹介患者増、救急車搬送増により単価アップ
	外来 延患者数	81,001人(26年度) 94,501人(31年度)	診療科の充実等により22年度実績68,706人から外来患者が段階的に向上

■ 財務シミュレーションの前提条件(損益(収益))

施設	科目	値	前提条件
市川	室料差額	17,800千円	23年度実績水準を維持
	医療相談 収益	14,600千円	23年度実績水準を維持
	受託検査 施設利用 収益	380千円	23年度実績水準を維持
	その他 医業収益	30,000千円	23年度実績水準を維持
	他会計負担金等	258,510千円(26年度) 194,197千円(35年度)	一般会計繰入金(交付税相当額)、県補助金(へき地医療拠点病院運営費)、患者外給食収益(23年度実績水準)、預金利息(23年度実績水準)
富士川	室料差額	13,602千円	23年度実績水準を維持
	保健予防 活動収益	221,982千円	23年度実績水準を維持
	医療相談 収益	25,562千円	23年度実績水準を維持
	受託検査 施設利用 収益	3,521千円	23年度実績水準を維持
	他会計負担金等	32,736千円(26年度) 240,536千円(35年度)	一般会計繰入金(交付税相当額)、患者外給食収益(23年度実績水準)、預金利息(23年度実績水準)

■ 財務シミュレーションの前提条件(損益(費用))

施設	科目	値	前提条件
市川	給与費	※ (平成28年度) 医業収益比61.1%	医師・看護師は基本構想に掲げる人数。その他職員は現状維持
	材料費	22,806円/人	入院患者数に比例
	経費	医業収益比6.9%	医業収益に比例
	委託費	医業収益比7.3%	医業収益に比例
	研究研修費	3,300千円	23年度決算実績水準を維持
富士川	給与費	※ (平成28年度) 医業収益比38.3%	医師・看護師は基本構想に掲げる人数。その他職員は現状維持
	材料費	12,348円/人	入院患者数に比例
	経費	医業収益比 13.1%	医業収益に比例
	委託費	医業収益比 11.0%	医業収益に比例
共通	減価償却費	計算値	建物購入価格想定から償却費を想定計算 (建物39年定額法、建物付属設備15年定率法)

※給与について

市川の医師給与費は22年度医師給与361,389千円を市川常勤換算医師数11.2人で除し、H26は12人、H31は13人の配置目標数を乗じて算出した。富士川の医師、2病院の看護師についても同様に算出した。他職種はH22と同額で設定している
※老健施設の損益については、いずれの項目も23年度決算実績水準を維持するものと仮定

■ 財務シミュレーションの前提条件(投資)

項目	値	前提条件
病院買い取り	鰺沢病院 500,000千円	仮設定値として5億円としている(病院、老健、土地を含む)
建物(建替)	市川三郷病院 2,000,000千円	市川三郷病院の病院建物を建て替える H30年度に固定資本形成と仮定
施設改修 及び 医療機器購入	鰺沢病院 施設改修 50,000千円 高額機器 250,000千円 その他機器 200,000千円 市川三郷町立病院 施設改修 26,000千円 医療機器 174,000千円	鰺沢病院 ※追加協議分 施設改修 院内保育所 高額機器 MRI、CT その他機器 ※当初予定分(基本構想策定時想定分) 5階病棟再開準備、腹腔鏡手術システム、整形用ハイビジョンカメラシステム、X線テレビ装置透視台、外科外来用超音波装置、小児救急用酸素テント等、手術室無影灯、人工呼吸器 等 市川三郷町立病院 療養病床の改修工事、外来診察室の改修工事、透析用監視装置、体外結石破碎システム、デジタル一般X線撮影装置、低周波治療器
診療情報システムの整備	2病院 200,000千円	2病院 電子カルテシステム、サーバー設置、端末購入
患者利便性確保への投資	2病院 15,000千円	バス運行整備(車両購入、停留所設置、路面表示)

■ 財務シミュレーションの前提条件(資金(既存借入))

既存借入		
長期借入金	市川三郷 (病院)※	平成25年度末残高 2億7,145万円 平均利率 2.69% 年返済額2,767万円
	市川三郷 (老健)※	平成25年度末残高 7億2,356万円 平均利率 3.32% 年返済額4,650万円
	鯉沢 (病院)	平成25年度末残高 0円
	鯉沢 (老健)	平成25年度末残高 0円

※市川三郷2施設の23年度借入元本返済額は7,417万円であるが、各企業債の23年度末残高を残存返済年数で均等割りしたものを合計すると8,712万円となる。シミュレーションでは保守的に、より大きな額である8,712万円(病院分2,846万円・老健分5,866万円)を採用している

■ 財務シミュレーションの前提条件(資金(新規借入等))

新規借入等			
開院準備	一部事務組合	借入金として処理	25年度に開院準備の設備投資として支出する金額について下記の地域医療再生計画基金の充当部分を除き長期借入金として計上し、企業団に引継ぎ返済していくものと仮定 ※条件設定 6年返済:うち1年据置 利率1.05%
開院時運転資金	一部事務組合	借入金として処理	26年度に短期借入金として調達。27年度から30年度に渡り返済・調達を繰り返しながら金額を順次減らしつつ、借入を実施(31年度以降は新たな短期借入は行わない)
市川三郷 建て替え資金	市川三郷	借入金として処理	建設費用2,000,0000円を全額起債により長期借入金として計上、順次返済していくものと仮定 ※条件設定 30年返済:うち5年据置 利率1.05%
地域医療再生計画 基金	共通	25年度に受領	915,000千円を計上

■ シミュレーション パターン1

単位:千円

収支計算表		開院準備		開院									
		25年度 -1年目	26年度 1年目	27年度 2年目	28年度 3年目	29年度 4年目	30年度 5年目	31年度 6年目	32年度 7年目	33年度 8年目	34年度 9年目	35年度 10年目	
収入	医業収益計	0	5,055,896	5,144,018	5,232,141	5,320,263	5,408,358	5,496,502	5,580,287	5,664,071	5,747,856	5,831,641	
	収入計	0	5,055,896	5,144,018	5,232,141	5,320,263	5,408,358	5,496,502	5,580,287	5,664,071	5,747,856	5,831,641	
	支出	医業費用計	0	4,842,963	4,918,715	4,994,474	5,055,331	5,204,887	5,252,607	5,327,329	5,312,878	5,387,598	5,462,295
		支出計	0	4,842,963	4,918,715	4,994,474	5,055,331	5,204,887	5,252,607	5,327,329	5,312,878	5,387,598	5,462,295
減価償却費戻入		0	158,238	158,238	158,238	143,357	215,152	175,152	175,152	86,009	86,009	86,009	
医業収支(当期本業増減額)計		0	371,171	383,541	395,905	408,289	418,623	419,047	428,110	437,202	446,267	455,355	
収入	医業外収益計	0	291,246	284,653	431,009	431,541	432,073	432,605	433,137	433,669	434,201	434,733	
	収入計	0	291,246	284,653	431,009	431,541	432,073	432,605	433,137	433,669	434,201	434,733	
	支出	医業外費用計	0	76,721	72,980	69,238	53,967	71,226	67,484	64,793	62,428	60,063	56,942
		支出計	0	76,721	72,980	69,238	53,967	71,226	67,484	64,793	62,428	60,063	56,942
経常収支(当期経常増減額)計		0	585,696	595,214	757,676	785,863	779,471	784,168	796,454	808,444	820,406	833,146	
開院準備投資	投資 鰺沢施設改修	50,000											
	投資 鰺沢施設買取	500,000											
	投資 市川施設改修	26,000											
	投資 鰺沢MRI、CT	250,000											
	投資 医療機器(2病院)	374,000											
	投資 電子カルテ・バス	215,000											
	投資 市川三郷病院建て替え						2,000,000						
投資後収支計		▲ 1,415,000	585,696	595,214	757,676	785,863	▲ 1,220,529	784,168	796,454	808,444	820,406	833,146	
返済	短期借入金返済額		0	1,090,000	800,000	600,000	400,000	200,000	0	0	0	0	
	長期借入金返済額		187,121	187,121	187,121	187,121	187,121	87,121	71,523	71,523	71,523	149,604	
	当期過不足資金	▲ 1,415,000	398,575	▲ 681,907	▲ 229,445	▲ 1,258	▲ 1,807,651	497,047	724,931	736,921	748,883	683,542	
調達金	短期借入金調達額		1,090,000	800,000	600,000	400,000	200,000						
	長期借入金調達額	500,000					2,000,000						
	地域医療再生計画基金	915,000											
当期発生留保金		0	1,488,575	118,093	370,555	398,742	392,349	497,047	724,931	736,921	748,883	683,542	
(留保金額)現預金残高		0	1,488,575	1,606,668	1,977,223	2,375,964	2,768,314	3,265,360	3,990,291	4,727,212	5,476,095	6,159,637	

損益	医業収益	3,732,050	5,055,896	5,144,018	5,232,141	5,320,263	5,408,358	5,496,502	5,580,287	5,664,071	5,747,856	5,831,641
	医業費用	4,170,018	4,842,963	4,918,715	4,994,474	5,055,331	5,204,887	5,252,607	5,327,329	5,312,878	5,387,598	5,462,295
	医業利益	▲ 437,968	212,934	225,303	237,667	264,932	203,471	243,895	252,958	351,193	360,258	369,346
	医業外収益	264,007	291,246	284,653	431,009	431,541	432,073	432,605	433,137	433,669	434,201	434,733
	医業外費用	106,460	76,721	72,980	69,238	53,967	71,226	67,484	64,793	62,428	60,063	56,942
	経常利益	▲ 280,421	427,458	436,977	599,438	642,506	564,319	609,016	621,302	722,435	734,397	747,137

シミュレーション パターン2

単位:千円

収支計算表		開院準備		開院									
		25年度 -1年目	26年度 1年目	27年度 2年目	28年度 3年目	29年度 4年目	30年度 5年目	31年度 6年目	32年度 7年目	33年度 8年目	34年度 9年目	35年度 10年目	
収入	医業収益計	0	5,055,896	5,144,018	5,232,141	5,320,263	5,408,358	5,496,502	5,580,287	5,664,071	5,747,856	5,831,641	
	収入計	0	5,055,896	5,144,018	5,232,141	5,320,263	5,408,358	5,496,502	5,580,287	5,664,071	5,747,856	5,831,641	
支出	医業費用計	0	4,842,963	4,918,715	4,994,474	5,055,331	5,204,887	5,252,607	5,327,329	5,312,878	5,387,598	5,462,295	
	支出計	0	4,842,963	4,918,715	4,994,474	5,055,331	5,204,887	5,252,607	5,327,329	5,312,878	5,387,598	5,462,295	
	減価償却費戻入	0	158,238	158,238	158,238	143,357	215,152	175,152	175,152	86,009	86,009	86,009	
	医業収支(当期本業増減額)計	0	371,171	383,541	395,905	408,289	418,623	419,047	428,110	437,202	446,267	455,355	
収入	医業外収益計	0	291,246	284,653	431,009	431,541	432,073	432,605	433,137	433,669	434,201	434,733	
	収入計	0	291,246	284,653	431,009	431,541	432,073	432,605	433,137	433,669	434,201	434,733	
支出	医業外費用計	0	55,275	53,484	51,692	38,370	57,579	55,787	55,045	54,629	54,214	53,043	
	支出計	0	55,275	53,484	51,692	38,370	57,579	55,787	55,045	54,629	54,214	53,043	
	経常収支(当期経常増減額)計	0	607,142	614,710	775,222	801,460	793,118	795,865	806,202	816,242	826,255	837,045	
開院準備投資	投資 鍼沢施設改修	50,000											
	投資 鍼沢施設買取	500,000											
	投資 市川施設改修	26,000											
	投資 鍼沢MRI、CT	250,000											
	投資 医療機器(2病院)	374,000											
	投資 電子カルテ・パス	215,000											
	投資 市川三郷病院建て替え						2,000,000						
	投資後収支計	▲ 1,415,000	607,142	614,710	775,222	801,460	▲ 1,206,882	795,865	806,202	816,242	826,255	837,045	
返済	短期借入金返済額		0	1,090,000	800,000	600,000	400,000	200,000	0	0	0	0	
	長期借入金返済額		128,460	128,460	128,460	128,460	128,460	28,460	12,862	12,862	12,862	90,943	
	当期過不足資金	▲ 1,415,000	478,681	▲ 603,750	▲ 153,238	72,999	▲ 1,735,342	567,405	793,340	803,380	813,392	746,102	
調達金	短期借入金調達額		1,090,000	800,000	600,000	400,000	200,000						
	長期借入金調達額	500,000					2,000,000						
	地域医療再生計画基金	915,000											
	当期発生留保金	0	1,568,681	196,250	446,762	472,999	464,658	567,405	793,340	803,380	813,392	746,102	
	(留保金額)現預金残高	0	1,568,681	1,764,932	2,211,694	2,684,693	3,149,351	3,716,756	4,510,096	5,313,476	6,126,868	6,872,971	
損益	医業収益	3,732,050	5,055,896	5,144,018	5,232,141	5,320,263	5,408,358	5,496,502	5,580,287	5,664,071	5,747,856	5,831,641	
	医業費用	4,170,018	4,842,963	4,918,715	4,994,474	5,055,331	5,204,887	5,252,607	5,327,329	5,312,878	5,387,598	5,462,295	
	医業利益	▲ 437,968	212,934	225,303	237,667	264,932	203,471	243,895	252,958	351,193	360,258	369,346	
	医業外収益	264,007	291,246	284,653	431,009	431,541	432,073	432,605	433,137	433,669	434,201	434,733	
	医業外費用	106,460	55,275	53,484	51,692	38,370	57,579	55,787	55,045	54,629	54,214	53,043	
	経常利益	▲ 280,421	448,904	456,473	616,985	658,103	577,966	620,714	631,050	730,233	740,246	751,037	

シミュレーション パターン3

単位:千円

収支計算表		開院準備		開院									
		25年度 -1年目	26年度 1年目	27年度 2年目	28年度 3年目	29年度 4年目	30年度 5年目	31年度 6年目	32年度 7年目	33年度 8年目	34年度 9年目	35年度 10年目	
収入	医業収益計	0	4,248,993	4,337,115	4,425,238	4,513,360	4,601,455	4,689,599	4,773,384	4,857,168	4,940,953	5,024,738	
	収入計	0	4,248,993	4,337,115	4,425,238	4,513,360	4,601,455	4,689,599	4,773,384	4,857,168	4,940,953	5,024,738	
支出	医業費用計	0	4,083,267	4,159,019	4,234,778	4,299,770	4,449,326	4,497,046	4,571,768	4,557,317	4,632,037	4,706,734	
	支出計	0	4,083,267	4,159,019	4,234,778	4,299,770	4,449,326	4,497,046	4,571,768	4,557,317	4,632,037	4,706,734	
減価償却費戻入		0	149,968	149,968	149,968	139,222	211,017	171,017	171,017	81,874	81,874	81,874	
医業収支(当期本業増減額)計		0	315,694	328,064	340,428	352,812	363,146	363,570	372,633	381,725	390,790	399,878	
収入	医業外収益計	0	213,129	206,536	352,892	353,424	353,956	354,488	355,020	355,552	356,084	356,616	
	収入計	0	213,129	206,536	352,892	353,424	353,956	354,488	355,020	355,552	356,084	356,616	
支出	医業外費用計	0	48,698	46,906	45,114	33,672	52,881	51,089	50,347	49,931	49,516	48,345	
	支出計	0	48,698	46,906	45,114	33,672	52,881	51,089	50,347	49,931	49,516	48,345	
経常収支(当期経常増減額)計		0	480,125	487,694	648,206	672,564	664,222	666,969	677,306	687,346	697,359	708,149	
開院準備投資	投資 鍼沢施設改修	50,000											
	投資 鍼沢施設買取	500,000											
	投資 市川施設改修	26,000											
	投資 鍼沢MRI、CT	250,000											
	投資 医療機器(2病院)	374,000											
	投資 電子カルテ・パス	215,000											
	投資 市川三郷病院建て替え						2,000,000						
	投資後収支計	▲ 1,415,000	480,125	487,694	648,206	672,564	▲ 1,335,778	666,969	677,306	687,346	697,359	708,149	
返済	短期借入金返済額		0	911,000	800,000	600,000	400,000	200,000	0	0	0	0	
	長期借入金返済額		128,460	128,460	128,460	128,460	128,460	28,460	12,862	12,862	12,862	90,943	
	当期過不足資金	▲ 1,415,000	351,665	▲ 551,766	▲ 280,255	▲ 55,897	▲ 1,864,238	438,509	664,444	674,484	684,496	617,206	
調達金	短期借入金調達額		911,000	800,000	600,000	400,000	200,000						
	長期借入金調達額	500,000					2,000,000						
	地域医療再生計画基金	915,000											
当期発生留保金		0	1,262,665	248,234	319,745	344,103	335,762	438,509	664,444	674,484	684,496	617,206	
(留保金額)現預金残高		0	1,262,665	1,510,899	1,830,644	2,174,748	2,510,509	2,949,018	3,613,462	4,287,946	4,972,443	5,589,649	

損益	医業収益	2,925,147	4,248,993	4,337,115	4,425,238	4,513,360	4,601,455	4,689,599	4,773,384	4,857,168	4,940,953	5,024,738
	医業費用	3,344,417	4,083,267	4,159,019	4,234,778	4,299,770	4,449,326	4,497,046	4,571,768	4,557,317	4,632,037	4,706,734
	医業利益	▲ 419,270	165,726	178,096	190,459	213,590	152,129	192,553	201,616	299,851	308,916	318,004
	医業外収益	216,596	213,129	206,536	352,892	353,424	353,956	354,488	355,020	355,552	356,084	356,616
	医業外費用	74,034	48,698	46,906	45,114	33,672	52,881	51,089	50,347	49,931	49,516	48,345
	経常利益	▲ 276,708	330,157	337,726	498,238	533,342	453,205	495,952	506,289	605,472	615,484	626,275

■ シミュレーション パターン4

単位:千円

収支計算表	開院準備		開院									
	25年度 -1年目	26年度 1年目	27年度 2年目	28年度 3年目	29年度 4年目	30年度 5年目	31年度 6年目	32年度 7年目	33年度 8年目	34年度 9年目	35年度 10年目	
収入	0	5,055,896	5,144,018	5,232,141	5,320,263	5,408,358	5,496,502	5,580,287	5,664,071	5,747,856	5,831,641	
支出	0	4,842,963	4,918,715	4,994,474	5,055,331	5,204,887	5,252,607	5,327,329	5,312,878	5,387,598	5,462,295	
減価償却費戻入	0	158,238	158,238	158,238	143,357	215,152	175,152	175,152	86,009	86,009	86,009	
医療収支(当期本業増減額)計	0	371,171	383,541	395,905	408,289	418,623	419,047	428,110	437,202	446,267	455,355	
収入	0	291,246	284,653	431,009	431,541	432,073	432,605	433,137	433,669	434,201	434,733	
支出	0	69,485	66,485	63,485	49,041	67,041	64,042	62,092	60,142	58,193	55,403	
経常収支(当期経常増減額)計	0	592,932	601,709	763,429	790,789	783,655	787,611	799,155	810,729	822,276	834,685	
開院準備投資												
投資 鍼沢施設改修	50,000											
投資 鍼沢施設買取	500,000											
投資 市川施設改修	26,000											
投資 鍼沢MRI、CT	250,000											
投資 医療機器(2病院)	374,000											
投資 電子カルテ・バス	215,000											
投資 市川三郷病院建て替え						2,000,000						
投資後収支計	▲ 1,415,000	592,932	601,709	763,429	790,789	▲ 1,216,345	787,611	799,155	810,729	822,276	834,685	
返済												
短期借入金返済額		0	1,090,000	800,000	600,000	400,000	200,000	0	0	0	0	
長期借入金返済額		158,661	158,661	158,661	158,661	158,661	58,661	58,661	58,661	58,661	138,661	
当期過不足資金	▲ 1,415,000	434,272	▲ 646,952	▲ 195,232	32,128	▲ 1,775,006	528,950	740,494	752,068	763,615	696,024	
調達金												
短期借入金調達額		1,090,000	800,000	600,000	400,000	200,000						
長期借入金調達額	500,000					2,000,000						
地域医療再生計画基金	915,000											
当期発生留保金	0	1,524,272	153,048	404,768	432,128	424,994	528,950	740,494	752,068	763,615	696,024	
(留保金額)現預金残高	0	1,524,272	1,677,320	2,082,087	2,514,216	2,939,210	3,468,159	4,208,653	4,960,722	5,724,337	6,420,361	
損益												
医療収益	3,732,050	5,055,896	5,144,018	5,232,141	5,320,263	5,408,358	5,496,502	5,580,287	5,664,071	5,747,856	5,831,641	
医療費用	4,170,018	4,842,963	4,918,715	4,994,474	5,055,331	5,204,887	5,252,607	5,327,329	5,312,878	5,387,598	5,462,295	
医療利益	▲ 437,968	212,934	225,303	237,667	264,932	203,471	243,895	252,958	351,193	360,258	369,346	
医療外収益	264,007	291,246	284,653	431,009	431,541	432,073	432,605	433,137	433,669	434,201	434,733	
医療外費用	106,460	69,485	66,485	63,485	49,041	67,041	64,042	62,092	60,142	58,193	55,403	
経常利益	▲ 280,421	434,695	443,471	605,191	647,432	568,503	612,459	624,003	724,720	736,267	748,676	

■ シミュレーション パターン5

単位:千円

収支計算表	開院準備	開院									
	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	32年度	33年度	34年度	35年度
	-1年目	1年目	2年目	3年目	4年目	5年目	6年目	7年目	8年目	9年目	10年目
収入	0	5,055,896	5,144,018	5,232,141	5,320,263	5,408,358	5,496,502	5,580,287	5,664,071	5,747,856	5,831,641
支出	0	4,842,963	4,918,715	4,994,474	5,055,331	5,204,887	5,252,607	5,327,329	5,312,878	5,387,598	5,462,295
減価償却費戻入	0	158,238	158,238	158,238	143,357	215,152	175,152	175,152	86,009	86,009	86,009
業収支(当期本業増減額)計	0	371,171	383,541	395,905	408,289	418,623	419,047	428,110	437,202	446,267	455,355
収入	0	291,246	284,653	431,009	431,541	432,073	432,605	433,137	433,669	434,201	434,733
支出	0	48,039	46,989	45,939	33,444	53,394	52,344	52,344	52,344	52,344	51,504
経常収支(当期経常増減額)計	0	614,378	621,205	780,975	806,386	797,302	799,308	808,903	818,528	828,124	838,584
開院準備投資											
投資 皷沢施設改修	50,000										
投資 皷沢施設買取	500,000										
投資 市川施設改修	26,000										
投資 皷沢MRI、CT	250,000										
投資 医療機器(2病院)	374,000										
投資 電子カルテ・パス	215,000										
投資 市川三郷病院建て替え						2,000,000					
投資後収支計	▲ 1,415,000	614,378	621,205	780,975	806,386	▲ 1,202,698	799,308	808,903	818,528	828,124	838,584
返済											
短期借入金返済額		0	1,090,000	800,000	600,000	400,000	200,000	0	0	0	0
長期借入金返済額		100,000	100,000	100,000	100,000	100,000	0	0	0	0	80,000
当期過不足資金	▲ 1,415,000	514,378	▲ 568,795	▲ 119,025	106,386	▲ 1,702,698	599,308	808,903	818,528	828,124	758,584
調達金											
短期借入金調達額		1,090,000	800,000	600,000	400,000	200,000					
長期借入金調達額	500,000					2,000,000					
地域医療再生計画基金	915,000										
当期発生留保金	0	1,604,378	231,205	480,975	506,386	497,302	599,308	808,903	818,528	828,124	758,584
(留保金額)現預金残高	0	1,604,378	1,835,583	2,316,558	2,822,944	3,320,247	3,919,555	4,728,458	5,546,986	6,375,110	7,133,694

損益	3,732,050	5,055,896	5,144,018	5,232,141	5,320,263	5,408,358	5,496,502	5,580,287	5,664,071	5,747,856	5,831,641
業外収益	264,007	291,246	284,653	431,009	431,541	432,073	432,605	433,137	433,669	434,201	434,733
業外費用	106,460	48,039	46,989	45,939	33,444	53,394	52,344	52,344	52,344	52,344	51,504
経常利益	▲ 280,421	456,141	462,968	622,737	663,029	582,151	624,157	633,751	732,519	742,116	752,575

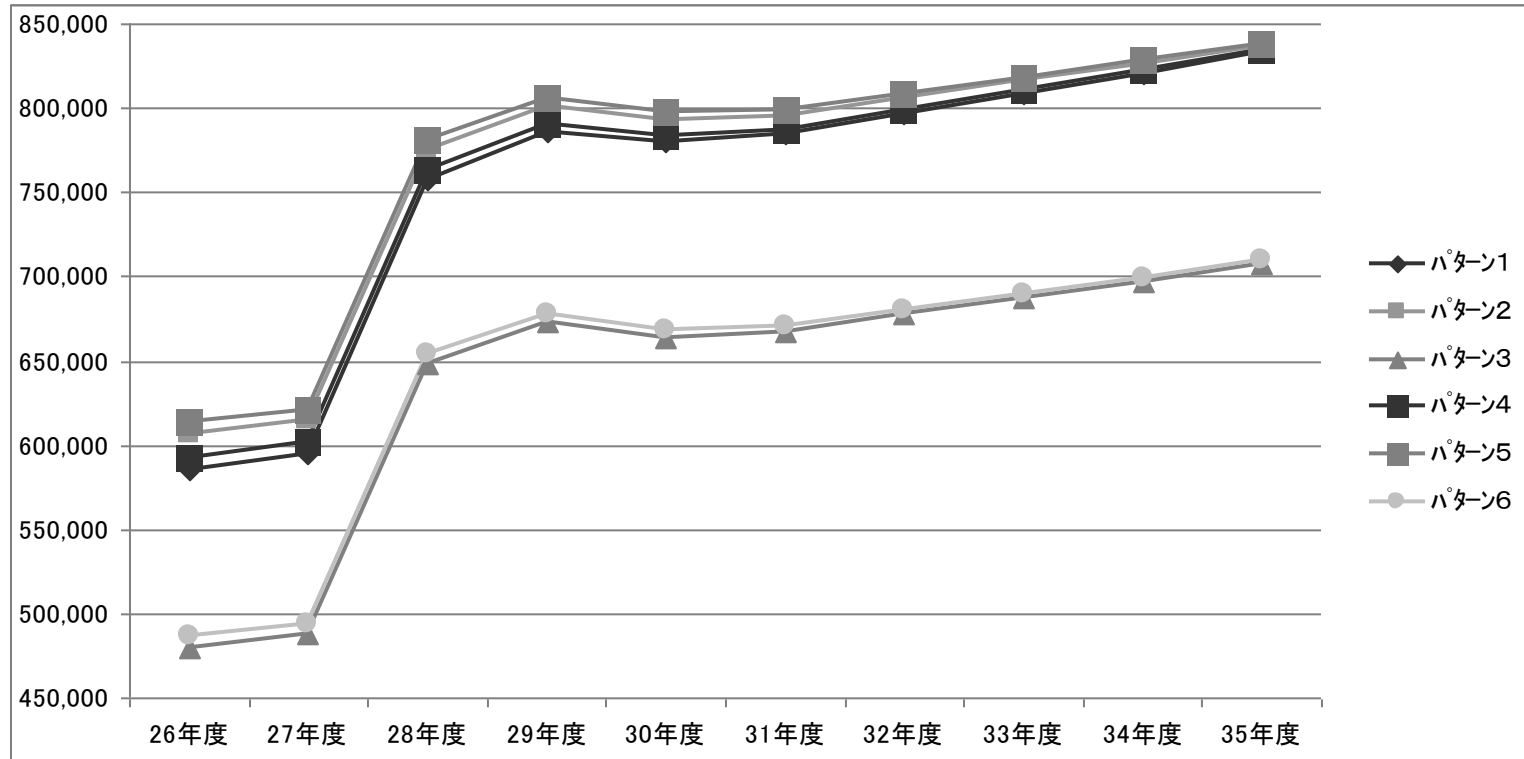
■ シミュレーション パターン6

単位:千円

収支計算表	開院準備		開院									
	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	32年度	33年度	34年度	35年度	
	-1年目	1年目	2年目	3年目	4年目	5年目	6年目	7年目	8年目	9年目	10年目	
収入	0	4,248,993	4,337,115	4,425,238	4,513,360	4,601,455	4,689,599	4,773,384	4,857,168	4,940,953	5,024,738	
支出	0	4,083,267	4,159,019	4,234,778	4,299,770	4,449,326	4,497,046	4,571,768	4,557,317	4,632,037	4,706,734	
減価償却費戻入	0	149,968	149,968	149,968	139,222	211,017	171,017	171,017	81,874	81,874	81,874	
医療収支(当期本業増減額)計	0	315,694	328,064	340,429	352,812	363,146	363,570	372,633	381,725	390,790	399,878	
収入	0	213,129	206,536	352,892	353,424	353,956	354,488	355,020	355,552	356,084	356,616	
支出	0	41,462	40,412	39,362	28,746	48,696	47,646	47,646	47,646	47,646	46,806	
経常収支(当期経常増減額)計	0	487,362	494,189	653,958	677,490	668,406	670,412	680,007	689,632	699,228	709,688	
開院準備投資		50,000										
投資 市川施設改修		500,000										
投資 市川施設改修		26,000										
投資 市川施設改修		250,000										
投資 医療機器(2病院)		374,000										
投資 電子カルテ・パス		215,000										
投資 市川三郷病院建て替え						2,000,000						
投資後収支計	▲ 1,415,000	487,362	494,189	653,958	677,490	▲ 1,331,594	670,412	680,007	689,632	699,228	709,688	
返済		0	911,000	800,000	600,000	400,000	200,000	0	0	0	0	
短期借入金返済額			100,000	100,000	100,000	100,000	0	0	0	0	80,000	
長期借入金返済額												
当期過不足資金	▲ 1,415,000	387,362	▲ 516,811	▲ 246,042	▲ 22,510	▲ 1,831,594	470,412	680,007	689,632	699,228	629,688	
資金調達			911,000	800,000	600,000	400,000	200,000					
短期借入金調達額		500,000										
長期借入金調達額		915,000				2,000,000						
地域医療再生計画基金												
当期発生留保金	0	1,298,362	283,189	353,958	377,490	368,406	470,412	680,007	689,632	699,228	629,688	
(留保金額)現預金残高	0	1,298,362	1,581,550	1,935,509	2,312,999	2,681,405	3,151,817	3,831,824	4,521,456	5,220,685	5,850,373	
損益		2,925,147	4,248,993	4,337,115	4,425,238	4,513,360	4,601,455	4,689,599	4,773,384	4,857,168	4,940,953	
医療収益		3,344,417	4,083,267	4,159,019	4,234,778	4,299,770	4,449,326	4,497,046	4,571,768	4,557,317	4,632,037	
医療費用		▲ 419,270	165,726	178,096	190,459	213,590	152,129	192,553	201,616	299,851	308,916	
医療利益		216,596	213,129	206,536	352,892	353,424	353,956	354,488	355,020	355,552	356,084	
医療外収益		74,034	41,462	40,412	39,362	28,746	48,696	47,646	47,646	47,646	46,806	
医療外費用		▲ 276,708	337,393	344,220	503,990	538,268	457,389	499,395	508,990	607,758	617,354	
経常利益												
5,024,738		5,024,738	5,024,738	5,024,738	5,024,738	5,024,738	5,024,738	5,024,738	5,024,738	5,024,738	5,024,738	

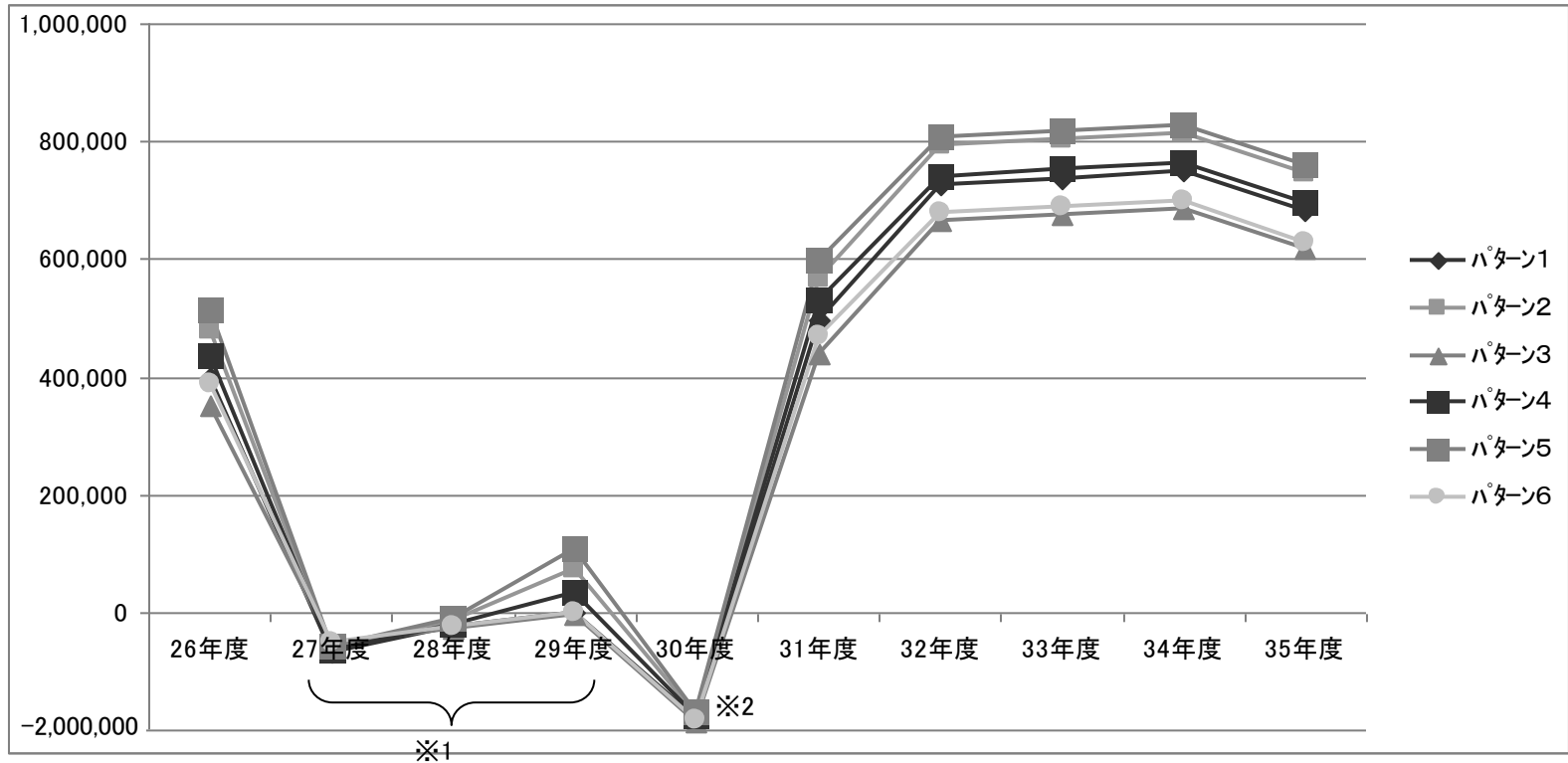
■ シミュレーション結果(経常収支)

(単位:千円)



■ シミュレーション結果(当期過不足資金)

(単位:千円)



※1 開院後の運転資金を確保するため、平成26年度から平成30年度の間、毎年短期借入(一時借入金)と返済を行っていくものであり、一部事務組合(企業団)としての現預金残高はプラスを維持できる

※2 市川三郷病院の建て替えに伴うもの。当期過不足資金としてはマイナスになるが、長期借入金(企業債)として建物投資額と同額を調達するため、一部事務組合(企業団)としての現預金残高はプラスを維持できる

■ シミュレーション結果(パターン別)

シミュレーション結果

パターン1

- ・ 病院負債を一組が負担
- ・ 老健を引継ぐ
- ・ 老健負債を一組が負担

- ・ 当パターンの資金繰りは将来的に滞ることなく回っていく
- ・ 病院負債を一組以外が負担する場合(パターン4)との比較では当期過不足資金で毎年約0.12~0.36億円下回り、資金繰りに影響がある
- ・ 老健負債を一組以外が負担する場合(パターン2)との比較では当期過不足資金で毎年約0.6~0.8億円下回り、資金繰りに影響がある

パターン2

- ・ 病院負債を一組が負担
- ・ 老健を引継ぐ
- ・ 老健負債を一組以外が負担

- ・ 当パターンの資金繰りは将来的に滞ることなく回っていく
- ・ 病院負債を一組以外が負担する場合(パターン5)との比較では当期過不足資金で毎年約0.12~0.36億円下回り、資金繰りに影響がある
- ・ 老健を引継がない場合(パターン3)との比較では経常収支で毎年約1億円強上回る。老健の運営により得られる現金により、資金繰りに余裕ができる

パターン3

- ・ 病院負債を一組が負担
- ・ 老健を引継がない

- ・ 当パターンの資金繰りは将来的に滞ることなく回っていく
- ・ 病院負債を一組以外が負担する場合(パターン6)との比較では当期過不足資金で毎年約0.12~0.36億円下回り、資金繰りに影響がある
- ・ 負債を含め老健を引継ぐ場合(パターン1)との比較では経常収支で毎年約1億円強下回る。老健の運営による現金獲得の機会を逸することで、資金繰りに影響がある

■ シミュレーション結果(パターン別)

シミュレーション結果

パターン4

- ・ 病院負債を一組以外が負担
- ・ 老健を引継ぐ
- ・ 老健負債を一組が負担

- ・ 当パターンは資金繰りは将来的に滞ることなく回っていく
- ・ 病院負債を一組が負担する場合(パターン1)との比較では当期過不足資金で毎年約0.12~0.36億円上回り、資金繰りに余裕ができる
- ・ 老健負債を一組以外が負担する場合(パターン5)との比較では当期過不足資金で毎年約0.6~0.8億円下回り、資金繰りに影響がある

パターン5

- ・ 病院負債を一組以外が負担
- ・ 老健を引継ぐ
- ・ 老健負債を一組以外が負担

- ・ 当パターンは資金繰りは将来的に滞ることなく回っていく
- ・ 病院負債を一組が負担する場合(パターン2)との比較では当期過不足資金で毎年約0.12~0.36億円上回り、資金繰りに余裕ができる
- ・ 老健負債を一組が負担する場合(パターン4)との比較では当期過不足資金で毎年約0.6~0.8億円上回り、資金繰りに余裕ができる

パターン6

- ・ 病院負債を一組以外が負担
- ・ 老健を引継がない

- ・ 当パターンは資金繰りは将来的に滞ることなく回っていく
- ・ 病院負債を一組が負担する場合(パターン3)との比較では当期過不足資金で毎年約0.12~0.36億円上回り、資金繰りに余裕ができる
- ・ 負債を含め老健を引継ぐ場合(パターン4)との比較では経常収支で毎年約1億円強下回る。老健の運営による現金獲得の機会を逸することで、資金繰りに影響がある

■ シミュレーション結果から得られる示唆： 病院負債の扱いについて

損益計算について基本構想をベースとした場合、既存の病院負債について一部事務組合（企業団）が引継いだとしても将来的に資金は回っていく結果となる（パターン1～3）




なお、一部事務組合（企業団）が既存の病院負債を負担する場合、負担しない場合に比べて当期過不足資金で毎年約1,200～3,600万円少ない状況になる（パターン1,2,3とパターン4,5,6との比較）




病院負債を引継いでも将来的に資金は回るが、一概に一部事務組合（企業団）が負担すべきとは言えず、今回のシミュレーション結果を参考に、両町で協議していく必要がある

■ シミュレーション結果から得られる示唆：老健施設の扱いについて


老健の負債を含めて老健を引継いだとしても、引継がない場合に比べて経常収支が毎年1億円強大きくなる結果となった。これは、2つの老健事業を合算して考えた場合、キャッシュの獲得能力が高いことを示している（パターン1と3、又は4と6との比較）



さらに、老健を引継いだ場合のメリットを踏まえると、一部事務組合（企業団）として老健を引継ぐべきであると考えられる



なお、老健の負債について、一部事務組合（企業団）が負担する場合（パターン1,4）には、負担しない場合（パターン2,5）に比べ、当期過不足資金で毎年約6,000～8,000万円少ない状況になる（パターン1と2、又は4と5との比較）

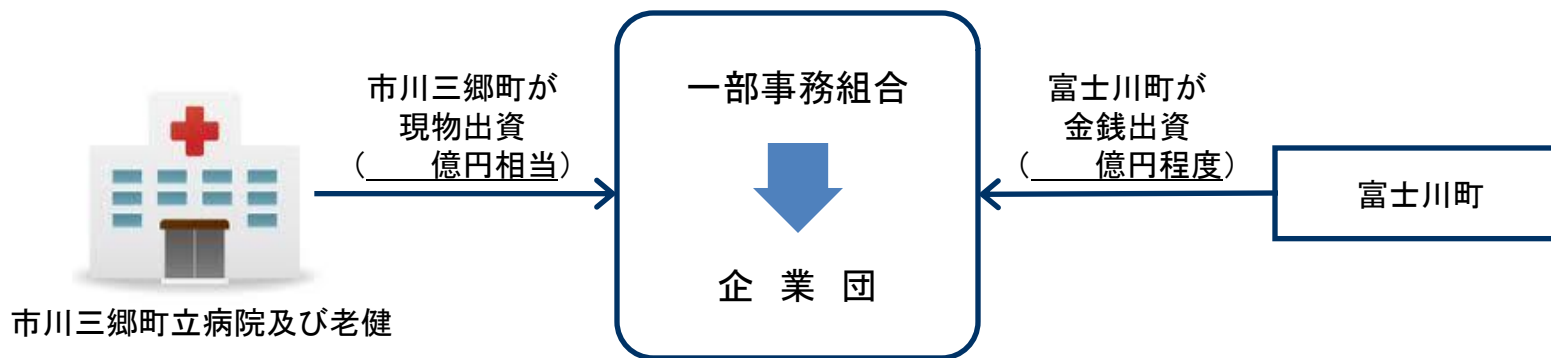


老健施設を引継ぐことにより収支面としても病院運営面でもメリットが得られるため、一部事務組合（企業団）として老健を引継ぐことが望ましいと考えられる。なお、老健の負債の処理については、今回のシミュレーション結果を参考に、両町で協議していく必要がある

■ 固定負債の処理及び構成団体からの出資(案)について

固定負債の処理及び構成団体の出資(案)

病院及び老健施設の負債の円滑な処理と、一部事務組合(企業団)の自己資本の充実を両立させるためには、市川三郷町立病院及び老健施設の固定資産と固定負債の差額(実質的な自己資本分。H25年度末で____億円程度)を市川三郷町が一部事務組合(企業団)に現物出資し、これと同額を富士川町が金銭出資することとすることが望ましいと考えられます



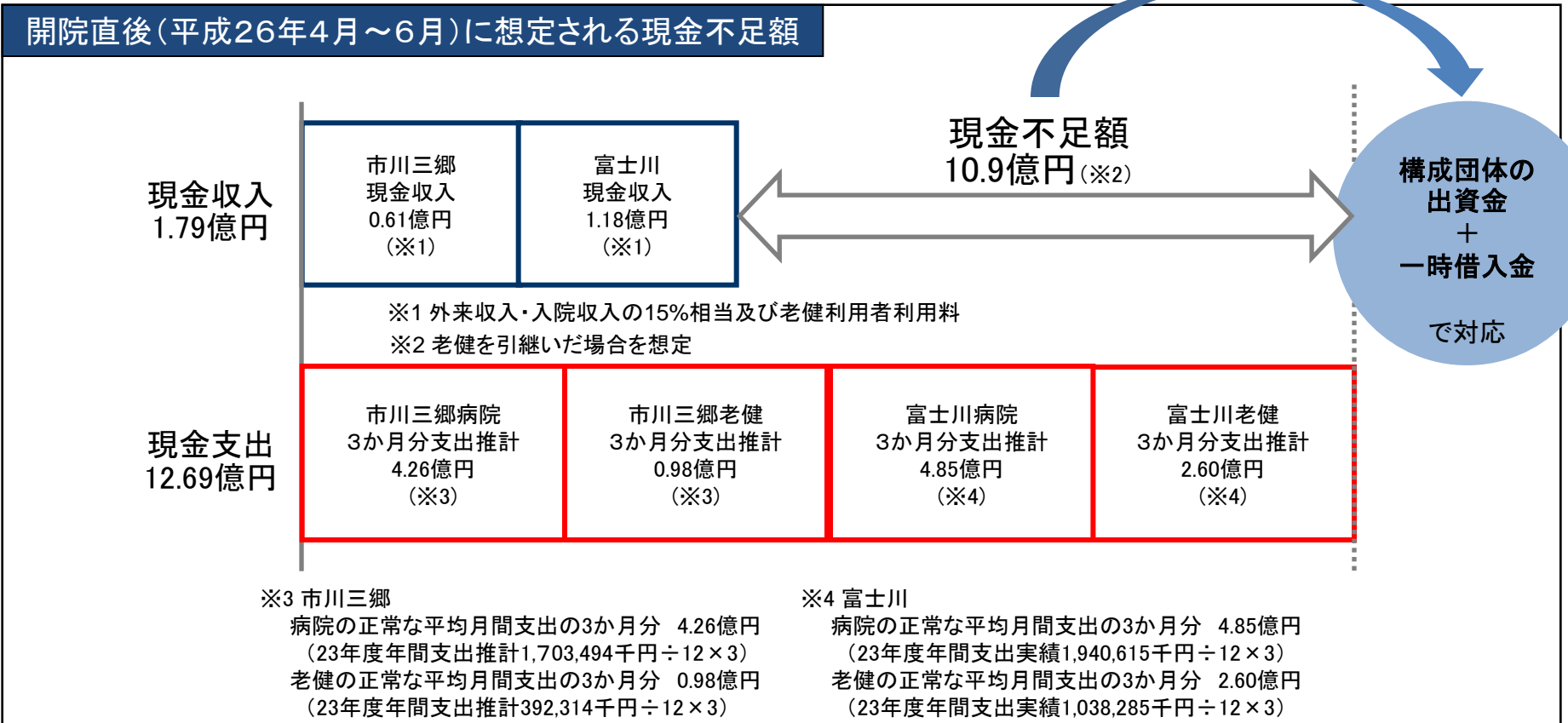
固定資産	約 ____ 億円
固定負債	約 10.0 億円

差額	約 ____ 億円
(実質的な自己資本分)	

* 固定資産額の算定に当たっては、資産形成にかかる町の寄与分として補助金相当額を差し引いた資産価値を算出するため、不動産鑑定評価額に一定の歩掛率を乗じる方法を採用することなどが考えられます

■ 開院直後に想定される現金不足額及びその調達方法(案)について

開院直後、約3ヶ月に渡って保険審査機関からの入金が無い状況で病院運営を行う必要があります。この点を踏まえ、開院直後3ヶ月間において想定される現金不足額を円滑に調達していく必要があります。



注)第3回協議会資料「運転資金」との違いについて

第3回協議会資料において掲載した「運転資金」とは、運営を継続している場合における薬品や医材等の購入と医業未収金との間で、病院が眠らせてしまっている(立替ている)現金の金額を示すものである。
これに対し、今回提示の「現金不足額」は、新規設立の組織として初期の医業収益の回収がない状態で、給与や経費さらに借入返済、資産購入までの施設運営の全ての現金支出を行っていきと仮定した場合の足りなくなる現金の金額を検討したものである。両者は全く異なる性質のものであり、開院時の必要資金としては今回提示の金額を参照する必要がある。

■ 開院前～開院直後の必要資金額及びその調達方法(案)について

開院前～開院直後までに必要な資金と調達方法

項目	金額(千円)	調達方法(原資)
市川三郷町立病院改修	26,000	<div style="border: 1px solid black; padding: 10px; text-align: center;"> 地域医療再生基金(9.15億円) +α 起債(一般単独事業債) </div>
鰹沢病院買い取り(RFOから)	500,000	
電子カルテ整備	200,000	
バス運行整備	15,000	
設備整備(当初予定分) ※基本構想時の想定分	374,000	
設備整備(追加協議分)	300,000	
小計	1,415,000	<div style="border: 1px solid black; padding: 10px; text-align: center;"> 出資金 + 一時借入金 </div>
運転資金	1,090,000	
総計	2,465,000	

返済が必要な借入金と調達方法

項目	金額(千円)	調達方法(原資)
長期借入金(病院分)	271,447	<div style="border: 1px solid black; padding: 10px; text-align: center;"> 一部事務組合(企業団) もしくは町 </div>
長期借入金(老健分)	723,564	

※返済計画に基づく平成25年度末の金額

■ 老健施設の扱い(案)について

一組(企業団)が老健を引継ぐメリット

- 企業団の経営方針や目標に向け、病院と一体となって活動できる
- 企業長の管理下のもと、病院と老健間の人事異動ができる
- 同一法人組織であればカルテ共有ができ、円滑に患者の治療に関する情報をやり取りできる
- 病院退院後、老健でリハビリを行うなどしながら在宅療養への復帰準備を行うことができる
- 老健の入所者の容態が悪化したときに、すぐに隣にある病院で対応できる

【両老健の状況(平成23年度末)】

市川三郷老健

- ・ 当期純利益: -4,789千円
- ・ 短期借入金: 60,000千円
- ・ 長期借入金: 821,250千円
(平均利率3.32% 年返済額4,650千円)
- ・ 平均入所率: 92.9%
- ・ 平均通所率: 45.4%

鯉沢老健

- ・ 当期純利益: 18,195千円
- ・ 短期借入金: 0円
- ・ 長期借入金: 0円
- ・ 平均入所率: 92.9%
- ・ 平均通所率: 78.9%

一組(企業団)が老健を引継ぐデメリット

- 老健の負債を一部事務組合(企業団)が引継いでいく場合には、市川三郷老健の長期借入金の利払いや元本返済の負担が大きく、一部事務組合(企業団)の経営を財政面で圧迫する可能性がある

老健施設の扱い(案)

統合病院として両病院の老健を引継ぐことにより、病院と老健の経営方針や運営管理について共通の考え方・仕組みにより運営を行うことができ、結果として病院の患者及び老健の入所者にとっても大きなメリットになるなど、デメリットを上回る効用が期待できる。
このため、老健施設については、一部事務組合(企業団)に引継ぐことが望ましい

会計処理方法の設定

■ 会計処理方法の設定

統合病院として日々の会計業務を行う上で検討すべき項目について、目標とそれに対する具体的な取組みについては下記の通りです。具体的な取組みは、開院後円滑な会計業務を行うためには開院時までには実行していく必要があります。

基本的な考え方

両病院のどちらかが採用している方法、もしくは別の方法(公営企業会計が義務付ける方法など)に合わせる形で、統合病院として下記項目について統一していく

検討項目	目標(開院時)	具体的な取組み(開院時まで)	
		取組み項目	取組み内容
会計基準	開院後の経営形態を踏まえつつ、会計監査上指摘を受けない会計基準が採用されている	採用する会計基準への変更	企業団の経営形態を踏まえ、地方公営企業会計に齟齬の会計基準を合わせていく。市川三郷についても平成26年4月の改定に合わせて、準備を行っていく(例.キャッシュフロー計算書を新たに作成する(現在は作成していない))
会計方針	統合病院の経営成績をより適切に反映できる会計方針が採用されている	採用する会計方針の検討	たな卸資産の評価方法(例.先入先出法、平均法)や、減価償却資産の償却方法(例.定額法、定率法)など、統合病院として採用する会計方針について、統合病院の実態を考慮して確定する。特に地方公営企業会計の見直しにより義務付けられているものについては地方公営企業会計に従う(例.退職給付引当金の計上義務付け)
勘定科目	採用した会計基準に準拠しつつ、経営成績データの集計の便宜も考慮した、統合病院として共通の科目体系となっている	勘定科目の設定	平成26年4月改正の地方公営企業会計に則った勘定科目体系を統合病院として設定する(例.市川三郷の「借入資本金」を「他会計長期借入金」と表示する)。また、設定した勘定科目体系を貸借対照表や損益計算書、残高試算表などの帳票に反映させる

■ 会計処理方法の設定

統合病院として日々の会計業務を行う上で検討すべき項目について、目標とそれに対する具体的な取組みについては下記の通りです。具体的な取組みは、開院後円滑な会計業務を行うためには開院時までには実行していく必要があります。

検討項目	目標(開院時)	具体的な取組み(開院時まで)	
		取組み項目	取組み内容
補助科目	データ集計の簡便性と入力作業の煩雑性回避を両立した、統合病院として共通の科目体系となっている	補助科目の設定	統合病院として設定する勘定科目体系に対して、現在両病院が使っている補助科目を考慮しつつ、補助科目の目的を明確にした上で統合病院としての補助科目を設定する(例.勘定科目「旅費」を目的で分けるために補助科目「通勤手当」「出張派遣」を設定する)
帳簿体系	データ集計やデータ入力に支障のないような書式設定となっている	帳簿体系と運用方法の検討	窓口現金集計表や医業未収金台帳、買掛帳といった会計帳簿の種類や書式、及びその記載方法などの運用方法について統合病院としての統一のルールを作る
財産目録	統合病院の保有する財産の詳細が一元的に管理され、職員間で共有されている	財産目録の作成	両病院から統合病院に引き継がれる財産の明細(例.建物や医療機器など)を整理し、目録として一表にまとめる。一表にまとめるにあたっては、財産の種類別に分類して記載する
資産管理番号	固定資産を一元的に管理できるような管理番号が各固定資産へ採番されている	資産管理番号の付与	統合病院として統一された番号体系により、統合病院として保有する固定資産(例.医療機器や車両など)に番号を付与する。例えば、市川三郷で保有する固定資産については番号の最初に「I」を、富士川で保有する固定資産については番号の最初に「F」を付与を行う

■ 会計処理方法の設定

統合病院として日々の会計業務を行う上で検討すべき項目について、目標とそれに対する具体的な取組みについては下記の通りです。具体的な取組みは、開院後円滑な会計業務を行うためには開院時までには実行していく必要があります。

検討項目	目標(開院時)	具体的な取組み(開院時まで)	
		取組み項目	取組み内容
集計単位	経営陣が部門別等の観点で経営成績を効率良く把握できるデータ集計単位の設定ができています	データ集計単位の設定 (集計部門の設定)	各病院や各老健といった施設別での損益状況の集計や、内科、外科といった診療科目別での患者数の集計など、データ集計を行う際の集計単位を設定する。集計単位を設定するにあたっては、企業長をはじめとする経営層が経営状況を把握するために必要な情報を提示できる単位で設定を行う
財務会計システム	会計業務を効率的に行うことができる統合病院として統一の財務会計システムが採用されている	採用する財務会計システムの検討	統合病院として財務会計情報を集計する財務会計システムを検討する。現在、市川三郷は医療大臣、鵜沢はICSシステムを採用しているが、それぞれの機能や保守運用コストを精査した上で、統合病院として採用するシステムを決める
会計監査	統合病院として大きな混乱無く会計監査を受けられるような会計監査人が選定されている	会計監査人の選定	現行の委託実績を考慮した上で、統合病院として委託する会計監査人を選定する(現行、市川三郷は町の監査委員による会計監査(例月監査、決算監査)、鵜沢は新日本監査法人による会計監査を受けている)

